

ひょうたんいけ

桜台小 学校だより
令和4年3月7日
第55号



「校長先生、チューリップの芽が大きくなってきたよ」と1年生の子が教えに来てくれました。この冬は何度も雪が降り、気温の低い日が多くて寒かったように感じますが、チューリップの芽を見ると、確実にそこまで春が近づいてきていることを予感させてくれます。6年生が学校に通う日もいよいよ1桁の日数となりました。これから卒業式の練習も少しずつ熱をおびてきます。6年生には、小学校生活最後の日々をかみしめながら、下級生たちに「なかま（相手）を大切に作る」という大切な精神をしっかりと受け継いでいってほしいと思います。

※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



校内研修の総括をしました。

本校は今年度、「未来につながる問題解決能力の育成～見通しを持ち、筋道を立てて考え、学び深め合う授業づくり～（2年次）」という研修主題で、算数科を教員研修の中心として位置付け、取り組んできました。2月22日(火)には、算数科の授業において、各学年がこの1年間どんなことを大切に作り取ってきたのかを、授業における実際の様子を紹介しながら、実践報告を行いました。研修会の中では、半具休物の活用や効果的な書画カメラやタブレットなどICT機器の活用の仕方について、算数用語をていねいに扱うことについて、ノートづくりについて、多様な考え方を引き出し認め合うことの大切さについて、などを確認しあいました。

本校の子どもたちの課題は、「記述式の問題が弱い」ところにあります。記述ができるようになるためには、授業などで論理立てて説明することができる機会を設ける必要があり、そうすることの意欲付け、興味付けも必要となってきます。解き方を説明し、なかまがわかるように子ども同士が伝えることを積み重ね、「なかまに説明することが楽しい」「筋道を立て、論理立てて説明することが大切だ」と思える気持ちを育てたいと考えています。



「6年生お祝い給食」「桜台ありがとうの会」を行いました。

3月2日(水)、「6年生お祝い給食」「桜台ありがとうの会」がありました。6年生のお祝い給食のメニューは、カレーライス、牛乳、海藻サラダのほか、豚カツまたはエビフライから1品、プリンまたはすだち&桃ゼリーから1品を選ぶというメニューでした。コロナ禍で楽しく話しながらの給食の時間とはなりませんでしたが、6年生の子どもたちはいつもと違った豪華なメニューに、表情をゆるませておいしそうに食べていました。給食調理員の皆さんには、6年生のために、いつもの給食のメニューに加えて、多くのメニューを調理していただきました。子どもたちみんな感謝をしたいと思います。



午後からは、6年生が教職員を招いて「桜台ありがとうの会」を催してくれました。感染症拡大防止の観点から、1組と2組とに分かれ、子どもたちが職員室にいる教職員を迎えに来てくれて、クイズやゲームと一緒に楽しんだり、6年間の思い出の寸劇を披露してくれたりしました。室内にアトラクションをつくって先生と一緒に楽しんだ学級もありました。最後には6年生からの感謝の言葉やお礼の手紙の贈呈などもあり、子どもたちも教職員も笑顔があふれ、ひと時の充実した楽しい時間を過ごしました。(文責 北住 昌文)

